

水源地域等の森林整備の実施状況について

○平成28年度までの水源地域等の森林整備の実施状況は次のとおりです。

事業区分		全体 (5カ年) 計画(ha)	合計		平成26年度		平成27年度						平成28年度					
					平成26年度事業		平成26年度繰越事業		平成27年度事業		計		平成27年度繰越事業		平成28年度事業		計	
			実績 (ha)	事業費 (円)	実績 (ha)	事業費 (円)	実績 (ha)	事業費 (円)	実績 (ha)	事業費 (円)	実績 (ha)	事業費 (円)	実績 (ha)	事業費 (円)	実績 (ha)	事業費 (円)	実績 (ha)	事業費 (円)
条件不利地 森林整備	区域調査	—	2,990	71,076,200	940.09	20,163,600	274.48	5,367,600	926.17	22,368,200	1,200.65	27,735,800	181.30	5,011,200	667.77	18,165,600	849.07	23,176,800
	実施計画 調査	—	1,290	175,736,400	253.56	33,646,000	167.00	19,587,200	247.23	37,294,400	414.23	56,881,600	397.76	48,058,000	224.63	37,150,800	622.39	85,208,800
	森林整備 の実施	3,500	910	538,687,200	—	—	275.79	134,416,800	128.68	97,038,600	404.47	231,455,400	337.31	185,230,200	168.08	122,001,600	505.39	307,231,800
	補償費	—	—	132,760	—	—	—	—	—	—	—	—	—	124,610	—	8,150	—	132,760
水源林 機能増進	区域調査	—	1,767	33,901,200	400.92	7,236,000	—	—	561.46	11,534,400	561.46	11,534,400	389.94	7,095,600	414.40	8,035,200	804.34	15,130,800
	実施計画 調査	—	754	91,929,600	80.09	10,551,600	41.83	5,011,200	184.06	22,202,800	225.89	27,214,000	354.44	40,286,000	93.76	13,878,000	448.20	54,164,000
	森林整備 の実施	500	408	214,379,200	—	—	87.98	40,791,600	49.82	26,317,280	137.80	67,108,880	183.60	90,630,120	86.69	56,640,200	270.29	147,270,320
松くい虫 被害地の再生	区域調査	—	414	7,893,400	161.55	2,624,400	—	—	104.56	2,752,600	104.56	2,752,600	—	—	148.09	2,516,400	148.09	2,516,400
	実施計画 調査	—	90.14	12,430,800	32.21	3,531,600	3.61	1,112,400	12.82	1,630,800	16.43	2,743,200	—	—	41.50	6,156,000	41.50	6,156,000
	森林整備 の実施	200	68	101,617,200	—	—	10.98	14,482,800	9.09	18,410,400	20.07	32,893,200	21.56	27,856,800	26.59	40,867,200	48.15	68,724,000
	補償費	—	—	10,990	—	—	—	10,990	—	—	—	10,990	—	—	—	—	—	—
合 計	区域調査	—	5,171	112,870,800	1,503	30,024,000	274	5,367,600	1,592	36,655,200	1,867	42,022,800	571	12,106,800	1,230	28,717,200	1,802	40,824,000
	実施計画 調査	—	2,135	280,096,800	366	47,729,200	212	25,710,800	444	61,128,000	657	86,838,800	752	88,344,000	360	57,184,800	1,112	145,528,800
	森林整備 の実施	4,200	1,386	854,683,600	—	—	375	189,691,200	188	141,766,280	562	331,457,480	542	303,717,120	281	219,509,000	824	523,226,120
	補償費	—	—	143,750	—	—	—	10,990	—	—	—	10,990	—	124,610	—	8,150	—	132,760
	事務費	—	—	642,670	—	327,888	—	—	—	309,002	—	309,002	—	—	—	5,780	—	5,780
		—	—	1,248,437,620	—	78,081,088	—	220,780,590	—	239,858,482	—	460,639,072	—	404,292,530	—	305,424,930	—	709,717,460

● 森林ボランティア活動・森林環境教育の推進関係

【平成26年度の実績】	4,611千円
【平成27年度の実績】	14,966千円
【平成28年度の実績】	12,937千円

【平成26～28年度の実績】	32,514千円
----------------	----------

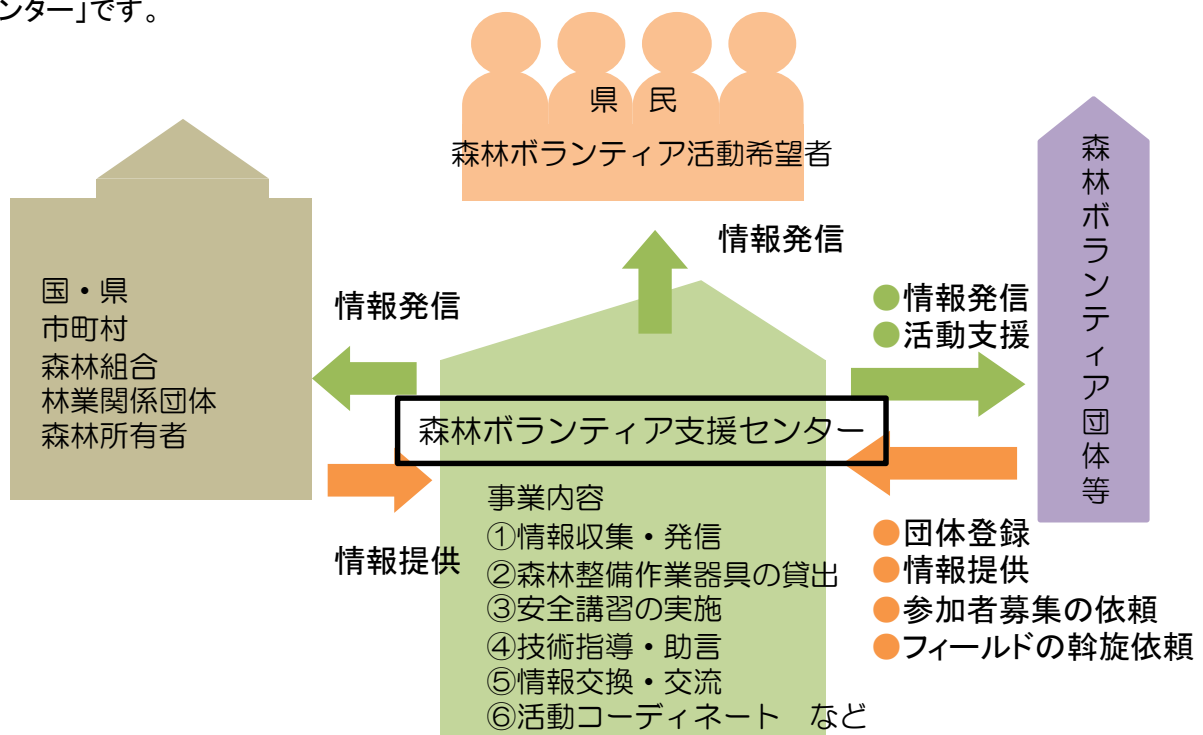
○ 森林ボランティア活動の推進

森林ボランティア支援センター

○森林は、木材を生産し災害を防ぎ清らかな水を貯えるなど多くの働きを持っていますが、林業収益性の悪化、林業従事者の不足・高齢化等により森林整備が十分に行き届きません。

○今、自ら積極的に森林整備等の活動をボランティアとして行う個人・団体・企業が増えており、その活動は、私たちの暮らしのためにも、また、地球温暖化防止のためにも、非常に重要です。

○この森林ボランティアの活動を推進していくために、ボランティア情報の収集と発信、指導や森林整備作業器具の貸出など、一体的なサポートを行う拠点が、「群馬県森林ボランティア支援センター」です。



○渋川市伊香保町伊香保637(群馬県憩の森 森林学習センター内)
Tel 0279-72-3220 Fax 0279-72-3045 ryokukaka@pref.gunma.lg.jp

○森林ボランティア支援センターホームページ「モリノワ」を開設し、森林ボランティア活動に必



情報誌「モリノワ」

項目	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	合計
森林整備作業用の機械・器具の貸し出し	貸出回数	47回	71回	77回	195回
安全講習会の開催	開催回数	11回	8回	11回	30回
	参加人数	226名	97名	394名	717名
森林ボランティア体験会の開催	開催回数	—	3回	5回	8回

○ 森林環境教育の推進

項目	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	合計
緑のインタープリター養成講座の開催 新規講座	開催回数	—	13回	12回	25回
	養成者数	—	26名	22名	48名
緑のインタープリター養成講座の開催 経験者講座	開催回数	4回	4回	4回	12回
	養成者数	29名	10名	4名	43名
緑のインタープリター登録者数	登録者数	38名	62名	94名	—
フォローアップ研修の開催	開催回数	—	3回	3回	6回

● 市町村提案型事業関係

市町村提案型事業 実施報告

市町村提案型事業 平成26～28年度 実施事業一覧表

・・・ 14

● 荒廃した里山・平地林の整備

【困難地整備支援】

- ・ 実施報告 ・・・ 15
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 18

【整備】

- ・ 実施報告 ・・・ 19
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 22

【管理】

- ・ 実施報告 ・・・ 23
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 26

【苗木の購入】

- ・ 実施報告 ・・・ 27
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 30

【刈払機・粉砕機の購入】

- ・ 実績報告 ・・・ 31
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 34

● 貴重な自然環境の保護・保全

- ・ 実施報告 ・・・ 35
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 38

● 森林環境教育・普及啓発

- ・ 実施報告 ・・・ 39
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 42

● 森林の公有林化

- ・ 実施報告 ・・・ 43
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 46

● 独自提案事業

- ・ 実施報告 ・・・ 47
- ・ 実施箇所紹介 ・・・ 50

市町村提案型事業 平成26～28年度 実施事業一覧表

区分	実施年				事業量	
	市町村数	事業数	事業費	補助金額		
里山	H26	20	46	66,421,618	49,896,503	森林:19.16ha 竹林:7.75ha 管理:5.10ha
	H26線	6	17	84,159,200	71,237,000	森林:13.48ha 竹林:25.18ha
	H27	24	100	190,270,044	130,133,000	森林:54.49ha 竹林:15.74ha 管理:39.60ha
	H27線	5	12	45,630,512	34,211,000	森林:4.67ha 竹林:5.78ha
	H28	29	156	185,635,726	168,313,000	森林:48.78ha 竹林:24.70ha 管理:106.57ha
	計	29	331	572,117,100	453,790,503	森林:140.58ha 竹林:79.15ha 管理:151.27ha
自然	H26	6	7	3,119,529	2,021,860	動物:2種 植物:7種
	H26線	0				
	H27	10	22	9,446,537	5,588,000	動物:12種 植物:25種
	H27線	0				
	H28	12	25	12,243,657	7,606,000	動物:14種 植物:26種
	計	12	54	24,809,723	15,215,860	動物:14種 植物:28種
教育	H26	11	15	5,621,950	4,122,811	参加者数:2,151人
	H26線	0				
	H27	14	31	17,126,506	11,194,000	参加者数:5,825人
	H27線	0				
	H28	20	39	24,242,047	18,259,000	参加者数:9,484人
	計	22	85	46,990,503	33,575,811	参加者数:17,460人
公有	H26	3	3	28,642,000	14,321,000	水源林:11.03ha 平地林:0.34ha
	H26線	0				
	H27	1	1	20,235,300	10,000,000	水源林:0ha 平地林:0.28ha
	H27線	0				
	H28	—	—	2,645,000	2,645,000	(繰越継続中)
	計	3	4	51,522,300	26,966,000	水源林:11.03ha 平地林:0.62ha
独自	H26	3	5	13,402,036	4,344,200	森林:5.38ha 竹林:3.12ha
	H26線	0				
	H27	4	6	22,375,966	8,609,000	森林:2.20ha 竹林:4.54ha
	H27線	0				
	H28	2	2	6,379,917	1,838,000	森林:1.01ha 竹林:1.76ha
	計	4	13	42,157,919	14,791,200	森林:8.59ha 竹林:9.42ha

合計	H26	28	76	117,207,133	74,706,374
	H26線	6	17	84,159,200	71,237,000
	H27	29	160	259,454,353	165,524,000
	H27線	5	12	45,630,512	34,211,000
	H28	35	222	231,146,347	198,661,000
計	—	487	737,597,545	544,339,374	

	年度				事業量
	市町村数	事業数	事業費	補助金額	
H26	20	46	66,421,618	49,896,503	森林:19.16ha 竹林:7.75ha 管理:5.10ha
H27	25	117	274,429,244	201,370,000	森林:67.59ha 竹林:41.48ha 管理:39.47ha
H28	29	168	231,266,238	202,524,000	森林:53.45ha 竹林:30.02ha 管理:106.57ha
計	29	331	572,117,100	453,790,503	森林:140.20ha 竹林:79.25ha 管理:151.14ha
H26	6	7	3,119,529	2,021,860	動物:2種 植物:7種
H27	10	22	9,446,537	5,588,000	動物:12種 植物:25種
H28	12	25	12,243,657	7,606,000	動物:14種 植物:26種
計	12	54	24,809,723	15,215,860	動物:14種 植物:28種
H26	11	15	5,621,950	4,122,811	参加者数:2,151人
H27	14	31	17,126,506	11,194,000	参加者数:5,825人
H28	20	39	24,242,047	18,259,000	参加者数:9,484人
計	22	85	46,990,503	33,575,811	参加者数:17,460人
H26	3	3	28,642,000	14,321,000	水源林:11.03ha 平地林:0.34ha
H27	1	1	20,235,300	10,000,000	水源林:0ha 平地林:0.28ha
H28	—	—	2,645,000	2,645,000	(繰越継続中)
計	3	4	51,522,300	26,966,000	水源林:ha 平地林:ha
H26	3	5	13,402,036	4,344,200	森林:5.38ha 竹林:3.12ha
H27	4	6	22,375,966	8,609,000	森林:2.20ha 竹林:4.54ha
H28	2	2	6,379,917	1,838,000	森林:1.01ha 竹林:1.76ha
計	4	13	42,157,919	14,791,200	森林:8.59ha 竹林:9.42ha

H26	28	76	117,207,133	74,706,374
H27	30	177	343,613,553	236,761,000
H28	35	234	276,776,859	232,872,000
計	—	487	737,597,545	544,339,374

荒廃した里山・平地林の整備（困難地整備）実施報告

平成26年度

【◆事業概要◆】

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	困難地整備支援
補助率	森林はha当たり上限500千円(ただし、全伐する場合、ha当たり上限1,500千円とする) 竹林はha当たり上限2,700千円 特殊伐採は補助率1/2以内(ただし、「ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業審査会設置運営要領」に規定する「ぐんま緑の県民基金市町村提案型審査会」において承認を得た額とし、上限2,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	地域住民等では整備が困難である荒廃した里山・平地林(竹林を含む)について、市町村が整備を実施。次年度以降は、地元自治会やNPO法人等が主体となり、市町村・土地権利者・事業実施団体の3者による協定に基づき継続的に維持管理を実施する。

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	22	8	14
採択箇所数	31	10	21
事業費(円)	134,881,149	41,631,149	93,250,000
県民基金(円)	113,978,000	34,496,000	79,482,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次
市町村数	2	—	2
廃止等の箇所数	2	—	2
事業費(円)	1,000,000	—	1,000,000
県民基金(円)	800,000	—	800,000
廃止等の主な理由	土地所有者との合意形成が不調となったため		

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	13	6	7
実施箇所数	16	8	8
《決算額》			
事業費(円)	28,412,100	19,437,840	8,974,260
県民基金(円)	20,628,000	14,398,000	6,230,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	7	2	5
繰越箇所数	13	2	11
《繰越額》			
事業費(円)	85,627,800	18,360,000	67,267,800
県民基金(円)	85,627,800	18,360,000	67,267,800

【平成26年度の実績】

20,628千円

- ・ 整備面積 森林 11.64ha、竹林 5.74ha (13市町村 16箇所)
- ・ 参考(繰越面積 森林25.87ha、竹林24.57ha※繰越承認時点)

【成果】

- ・ 市町村が森林(竹林)整備することにより野生動物被害の低減、生活道路や通学路の見通しの確保、景観の保全がなされ、地域住民の安心・安全な生活環境の改善が図られた。
- ・ 困難地を市町村が優先的に整備を実施することで、地域住民の身近な里山(竹林)環境に対する関心が高まった。

【課題・方向性】

- ・ 地域が荒廃した里山・平地林を維持管理していくためには、地域住民の維持管理の負担感を軽減し、継続的な管理意欲を高めることが重要であることから、地元市町村と協力しながら地域の取組をフォローする必要がある。
- ・ 今年度については、繰越が多くなったため、市町村による早期の事業着手ができるよう配慮する必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 竹林の整備によりイノシシの潜伏場所が解消され、イノシシの出没や農作物の被害が減った。
- ・ 子供達の通学路周辺の竹林や藪が整備され、安心して通学できる環境が整った。
- ・ 公共事業の対象にならないような地域に点在する規模の小さい荒廃地を、地域の力で再生するためには有効な制度である。
- ・ 荒廃した竹林の土地所有者がわからず、地域の協力を得るのが困難であった。
- ・ 過疎高齢化が進む地域では、町が整備した後の管理体制づくりが非常に困難であった。

平成27年度

【◆事業概要◆】

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	困難地整備支援
補助率	森林はha当たり上限500千円(ただし、全伐する場合、ha当たり上限1,500千円とする) 竹林はha当たり上限2,700千円(ただし、全伐する場合、ha当たり上限5,900千円とする) 特殊伐採は補助率1/2以内(ただし、「ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業審査会設置運営要領」に規定する「ぐんま緑の県民基金市町村提案型審査会」において承認を得た額とし、上限2,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	地域住民等では整備が困難である荒廃した里山・平地林(竹林を含む)について、市町村が整備を実施。次年度以降は、地元自治会やNPO法人等が主体となり、市町村・土地権利者・事業実施団体の3者による協定に基づき継続的に維持管理を実施する。

【平成26年度繰越の実績】

67,400千円

- ・ 整備面積 森林 10.65ha、竹林20.83ha (5市町村 13箇所)

【平成27年度の実績】

110,668千円

- ・ 整備面積 森林 48.68ha、竹林13.34ha (14市町村 37箇所)

【H27事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	21	15	16
採択箇所数	63	21	42
事業費(円)	276,594,904	85,554,000	191,040,904
県民基金(円)	183,806,000	67,334,000	116,472,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次
市町村数	7	4	4
廃止等の箇所数	15	4	11
事業費(円)	35,562,607	4,825,000	30,737,607
県民基金(円)	22,956,000	4,325,000	18,631,000
廃止等の主な理由	土地所有者との合意形成が不調となったため		

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	14	8	12
実施箇所数	37	13	24
《決算額》			
事業費(円)	163,244,958	64,229,900	99,015,058
県民基金(円)	110,668,000	52,379,000	58,289,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	5	4	3
繰越箇所数	11	4	7
《繰越額》			
事業費(円)	66,547,240	29,589,000	36,958,240
県民基金(円)	61,404,000	29,589,000	31,815,000

【成果】

- ・ 市町村が森林(竹林)整備することにより野生動物被害の低減、生活道路や通学路の見通しの確保、景観の保全がなされ、地域住民の安心・安全な生活環境の改善が図られた。
- ・ 竹林の全伐補助額を、ha当たり上限5,900千円としたことで、放置竹林の整備が促進された。

【課題・方向性】

- ・ 地域が荒廃した里山・平地林を維持管理していくためには、地域住民の維持管理の負担感を軽減し、継続的な管理意欲を高めることが重要であることから、地元市町村と協力しながら地域の取組をフォローする必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 地域住民が協力して整備を続けていくことで、住民同士の連携強化が期待される。
- ・ 野生鳥獣潜伏場所が解消され、農作物の被害が減少した。
- ・ 伐採した樹木等を産業廃棄物として処理する場合の補助をしていただきたい。

平成28年度

【◆事業概要◆】

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	困難地整備支援
補助率	森林はha当たり上限500千円(ただし、全伐する場合、ha当たり上限1,500千円とする) 竹林はha当たり上限2,700千円(ただし、全伐する場合、ha当たり上限5,900千円とする) 特殊伐採は補助率1/2以内(ただし、「ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業審査会設置運営要領」に規定する「ぐんま緑の県民基金市町村提案型審査会」において承認を得た額とし、上限2,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	地域住民等では整備が困難である荒廃した里山・平地林(竹林を含む)について、市町村が整備を実施。次年度以降は、地元自治会やNPO法人等が主体となり、市町村・土地権利者・事業実施団体の3者による協定に基づき継続的に維持管理を実施する。

【平成27年度繰越の実績】

33,631千円

- ・ 整備面積 森林 3.67ha、竹林5.32ha(5市町村 9箇所)

【平成28年度の実績】

151,627千円

- ・ 整備面積 森林 45.75ha、竹林21.6ha(18市町村 41箇所)

【事業の採択状況】

区分	合計
市町村数	21
採択箇所数	56
事業費(円)	238,865,513
県民基金(円)	220,455,000

【事業の廃止】

区分	合計
市町村数	3
廃止等の箇所数	6
事業費(円)	12,150,000
県民基金(円)	12,150,000
廃止等の主な理由	土地所有者との合意形成が不調となったため

【事業の実施状況】

区分	合計
市町村数	18
実施箇所数	41
《決算額》	
事業費(円)	164,664,040
県民基金(円)	151,627,000

【繰越状況】

区分	合計
市町村数	6
繰越箇所数	9
《繰越額》	
事業費(円)	66,233,924
県民基金(円)	30,825,000

【成果】

- ・ 市町村が森林(竹林)整備することにより野生動物被害の低減、生活道路や通学路の見通しの確保、景観の保全がなされ、地域住民の安心・安全な生活環境の改善が図られた。
- ・ 竹林の全伐補助額を、ha当たり上限5,900千円としたことで、放置竹林の整備が促進された。

【課題・方向性】

- ・ 地域が荒廃した里山・平地林を維持管理していくためには、地域住民の維持管理の負担感を軽減し、継続的な管理意欲を高めることが重要であることから、地元市町村と協力しながら地域の取組をフォローする必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 野生鳥獣潜伏場所が解消され、農作物の被害が減少した。
- ・ 地域住民が協力して整備を続けていくことで、住民同士の連携強化が期待される。
- ・ 地域住民の高齢化による作業人員確保の困難化が危惧される。

事業年度	平成27年度			
事業名	里山再生事業			
事業実施主体	富岡市	市町村名	富岡市	
事業成果	竹林の全伐を0.5ha実施。景観が改善されるとともに、野生鳥獣の潜伏場所が解消され、農作物等の被害が減少した。			
整備面積	0.50ha	事業費(補助金)	2,916,000円	(2,916,000円)

着工前



平成27年度事業完了



現況



着工前



平成27年度事業完了



現況



荒廃した里山・平地林の整備（整備）実施報告

平成26年度

◆事業概要◆

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	整備
補助率	森林はhaあたり上限280千円 竹林はhaあたり上限700千円

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	荒廃した里山・平地林(竹林を含む)について、地元自治会やNPO法人等が主体となり、市町村・土地権利者・事業実施団体の3者による協定に基づき整備を実施。次年度以降についても継続的に管理を実施する。

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	9	6	3
採択箇所数	17	8	9
事業費(円)	8,465,000	4,119,600	4,345,400
県民基金(円)	8,465,000	4,119,600	4,345,400

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次
市町村数	2	2	—
廃止等の箇所数	2	2	—
廃止等の事業費	756,000	756,000	—
うち県民基金	756,000	756,000	—
廃止等の主な理由	土地所有者との合意形成が不調となったため		

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	7	5	2
実施箇所数	11	5	6
《決算額》			
事業費(円)	3,803,584	2,721,893	1,081,691
県民基金(円)	3,425,850	2,401,150	1,024,700

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数		1	2
繰越箇所数	4	1	3
《繰越額》			
事業費	4,047,000	792,000	3,255,000
うち県民基金	4,047,000	792,000	3,255,000

【平成26年度の実績】

3,426千円

- ・ 整備面積 森林 7.52ha、竹林 2.01ha（7市町村 11箇所 自治会6 NPO法人等5）
- ・ 参考(繰越面積 森林 2.83ha、竹林 4.65ha※繰越承認時点)

【成果】

- ・ 地域住民が主体的に森林(竹林)整備することにより野生動物被害の低減、生活道路や通学路の見通しの確保、景観の保全がなされ、地域住民の安心・安全な生活環境の改善が図られた。
- ・ 地域住民が自らの地域を整備を実施することで、地域住民の身近な里山(竹林)環境に対する関心が高まった。

【課題・方向性】

- ・ 地域が荒廃した里山・平地林を継続的に維持管理していくためには、地域住民の維持管理の負担感を軽減し、継続的な管理意欲を高めることが重要であることから、地元市町村と協力しながら地域の取組をフォローする必要がある。
- ・ ぐんま緑の県民税事業の事業活用メリットを積極的にPRし、地域の合意形成や協力体制を円滑に図る必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 地域の課題であった道路沿線の竹林が解消され、日常生活における安心・安全が確保された。
- ・ 地域の山林がきれいになり、野生動物が出没なくなった。
- ・ 地域のボランティアのパワーを活用し、荒廃した里山整備を行政と協働して行うためには必要な取組である。
- ・ 林家の後継者の大部分がサラリーマンである中、今回の事業をきっかけとして荒廃した山林の現実を直視し、少しずつではあるが整備を進めることができた。
- ・ 地域の課題であった荒廃した竹林の所有者が不明であり、所有者の特定や協定の締結などに大変労力がかかった。
- ・ 自治会等が事業を実施する場合、事務手続き上の負担が多かったため、提出書類などの手続きを簡素化してほしい。

平成27年度

◆事業概要◆

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	整備
補助率	森林はhaあたり上限280千円 竹林はhaあたり上限700千円

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	荒廃した里山・平地林(竹林を含む)について、地元自治会やNPO法人等が主体となり、市町村・土地権利者・事業実施団体の3者による協定に基づき整備を実施。次年度以降についても継続的に管理を実施する。

【平成26年度繰越の実績】

- ・ 整備面積 森林 2.83ha、竹林4.35ha (2市町村 4箇所)

【平成27年度の実績】

2,875千円

- ・ 整備面積 森林 5.81ha、竹林2.40ha (5市町村 13箇所)

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	6	3	4
採択箇所数	16	5	11
事業費(円)	7,316,600	5,051,800	2,264,800
県民基金(円)	6,513,600	4,259,600	2,254,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次
市町村数	2	1	1
廃止等の箇所数	2	1	1
廃止等の事業費	3,026,800	2,886,800	140,000
うち県民基金	3,026,800	2,886,800	140,000
廃止等の主な理由	土地所有者との合意形成が不調となったため		

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	5	3	3
実施箇所数	13	4	9
《決算額》			
事業費(円)	3,641,748	1,781,329	1,860,419
県民基金(円)	2,875,000	1,041,000	1,834,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	1	0	1
繰越箇所数	1	0	1
《繰越額》			
事業費	280,000	0	280,000
うち県民基金	280,000	0	280,000

【成果】

- ・ 地域住民が主体的に森林(竹林)整備することにより野生動物被害の低減、生活道路や通学路の見通しの確保、景観の保全がなされ、地域住民の安心・安全な生活環境の改善が図られると共に、地域住民の連携が強化された。

【課題・方向性】

- ・ 地域が荒廃した里山・平地林を継続的に維持管理していくためには、地域住民の維持管理の負担感を軽減し、継続的な管理意欲を高めることが重要であることから、地元市町村と協力しながら地域の取組をフォローする必要がある。
- ・ ぐんま緑の県民税事業の事業活用メリットを積極的にPRし、地域の合意形成や協力体制を円滑に図る必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 地域の山林がきれいになり、野生鳥獣の出没が少なくなった。
- ・ 本事業の活用をきっかけに、住民の連携が強化されることを期待する。
- ・ 事務手続きに慣れない自治会が事業を実施する場合、事務手続き上の負担が多かったため、提出書類などの手続きを簡素化してほしい。

平成28年度

◆事業概要◆

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	整備
補助率	森林はhaあたり上限280千円 竹林はhaあたり上限700千円

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	荒廃した里山・平地林(竹林を含む)について、地元自治会やNPO法人等が主体となり、市町村・土地権利者・事業実施団体の3者による協定に基づき整備を実施。次年度以降についても継続的に管理を実施する。

【平成27年度繰越の実績】

280千円

- ・ 整備面積 森林 1.00ha (1市町村 1箇所)

【平成28年度の実績】

2,710千円

- ・ 整備面積 森林 3.03ha、竹林3.10ha (11市町村 12箇所)

【事業の採択状況】

区分	合計
市町村数	11
採択箇所数	13
事業費(円)	5,934,200
県民基金(円)	5,713,000

【事業の廃止】

区分	合計
市町村数	1
廃止等の箇所数	1
廃止等の事業費	280,000
うち県民基金	280,000
廃止等の主な理由	地域住民との合意形成が不調となったため

【事業の実施状況】

区分	合計
市町村数	11
実施箇所数	12
《決算額》	
事業費(円)	2,996,062
県民基金(円)	2,710,000

【繰越状況】

区分	合計

【成果】

- ・ 地域住民が主体的に森林(竹林)整備することにより野生動物被害の低減、生活道路や通学路の見通しの確保、景観の保全がなされ、地域住民の安心・安全な生活環境の改善が図られると共に、地域住民の連携が強化された。

【課題・方向性】

- ・ 地域が荒廃した里山・平地林を継続的に維持管理していくためには、地域住民の維持管理の負担感を軽減し、継続的な管理意欲を高めることが重要であることから、地元市町村と協力しながら地域の取組をフォローする必要がある。
- ・ ぐんま緑の県民税事業の事業活用メリットを積極的にPRし、地域の合意形成や協力体制を円滑に図る必要がある。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 地域の山林がきれいになり、野生鳥獣の出没が少なくなった。
- ・ 本事業の活用をきっかけに、住民の連携が強化されることを期待する。
- ・ 地域住民の高齢化による作業人員確保の困難化が危惧される。